

機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具
管理医療機器 自動電子血圧計 (JMDN コード: 16173000)

シチズン 上腕式血圧計 CHU703
(CHU703-KU / CHU7031)

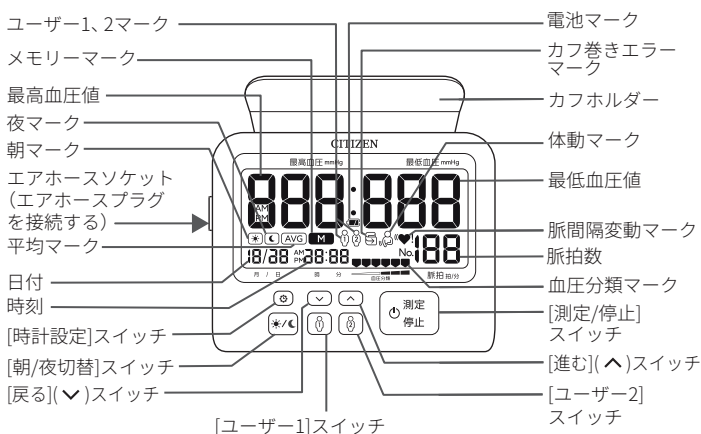
【禁忌・禁止】

(血圧計を適正にご使用いただくための注意事項です。)

- この血圧計には同梱のカフ (腕帯) を必ず使用し、他の医療機器や器具と接続または併用しないでください。[けがや事故をおこすおそれがあります。]
- ご自身で測る場合は:
医師の指導にもとづいて測定し診断を受けましょう。薬剤の服用も医師の指示に従ってください。測定結果の自己判断、治療はしないでください。
- 傷などの未治療の腕にカフ (腕帯) を巻かないでください。[未治療部分を悪化させるおそれがあります。]
- 治療中で点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕にカフ (腕帯) を巻かないでください。[けがや事故をおこすおそれがあります。]
- 腕部に重度の血行障害がある場合は、医師と相談の上使用してください。[体調不良をおこすおそれがあります。]
- 測定部位の血流が少ない方、血管脈の弱い方、不整脈の頻度の高い方は測定できないことがあります。その判断は医師によります。使用前に必ず医師に相談してください。
- 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。[引火の可能性があります。]
- 病院内の高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しないでください。[発火の可能性があります。]
- 本製品は在宅での自己血圧測定に使用するものですので、不特定多数の被験者が対象となる医療機関・公共の場所で使用しないでください。
- ペースメーカーをご使用の方や乳腺切除した方、妊娠中の方は、かかりつけの医師の指示を受けてください。

【形状・構造及び原理等】

1. 各部のなまえ



<カフ (腕帯) >



付属品	取扱説明書 / 保証書	1 枚
	単 3 形アルカリ乾電池	4 本
	カフ (腕帯)	1 個
	専用 AC アダプター (CHU703-KU のみ)	1 個

※指定以外のものは使用しないでください。

2. 体に接触する部分の原材料

- カフ (腕帯) : ナイロン

3. 本体の寸法および重量

- 寸法: 約147 (幅) × 76 (高さ) × 135 (奥行) mm
- 質量: 約315g (電池含まず)

4. 電気的定格

- 定格電圧: DC6V (単3形乾電池4本または単3形ニッケル水素充電池4本または専用ACアダプター (CHU7031は別売))
- 消費電力: 3W

5. 原理

カフ内圧を最高血圧以上に加圧後、徐々に減圧すると、カフ内圧に、心拍に同期した脈動現象が現れます。この脈動の出始めは小さく、減圧に従い大きくなり、やがて最大振幅を示した後、再び小さくなる山型のパターンになります。

オシロメトリック方式の血圧計は、この脈動分の振幅波形情報をマイクロコンピュータで解析して最高血圧値および最低血圧値を決定しています。

【使用目的又は効果】

健康管理のために収縮期血圧 (最高血圧) および拡張期血圧 (最低血圧) を非観血的に測定します。

【使用方法等】

<測定前準備>

(1) 電池を入れます

- 本体を裏返して電池カバーを開け、電池の (+) (-) に注意して電池を入れた後、電池カバーを閉めます。
- ACアダプターを使用する場合は、ACアダプターのプラグを本体のコネクタに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

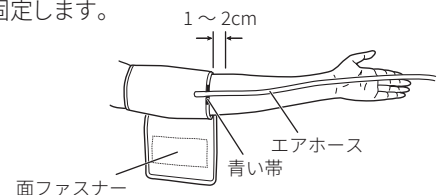
(2) 時計を合わせます

- 取扱説明書の手順に従って、「年月日」および「時分」を合わせてください。

<測定方法>

- (1) エアホースプラグを本体のエアホースソケットに差し込みます
- (2) カフ (腕帯) を左腕の上腕部に巻きます

- ① エアホースが、手のひら側にくるようにして腕を通します。
- ② カフ (腕帯) の青い帯が腕の中心にくるようにして、カフ (腕帯) の縁をひじの関節から 1 ~ 2cm 上の位置に合わせます。
- ③ カフ (腕帯) の端を引いて、ぴったりと腕に巻きつけ、面ファスナーで固定します。





※巻き方が適切でないと、正しく測定できない場合がありますので、巻きつけがゆるすぎたり締め付けすぎたりしないようにしてください。

※腕周囲が 22cm 未満、32cm を超えた方が測定した場合、正しく血圧を測定できない場合があります。

取扱説明書を必ずご参照ください

- (3) 正しい姿勢をとりま
 - ・正しい姿勢のとりかたは取扱説明書に従ってください。
- (4) 測定ユーザーを確認します
 - ・表示部に点灯している測定ユーザーを確認します。測定ユーザーを切り替えたいときは、[ユーザー1]スイッチまたは[ユーザー2]スイッチを押して、ユーザーを切り替えてください。
- (5) [測定/停止]スイッチを押して測定を開始します
 - ・自動的に加圧し（再加圧する場合があります）、測定が終了すると自動的にカフ（腕帯）の空気が抜けます。
 - ・[測定/停止]スイッチを押して続け、停止したい圧力値でスイッチを離すと、その圧力値で加圧を停止させることもできます。
- (6) 最高血圧、最低血圧、脈拍数が表示されます
 - ・血圧分類マークで測定値を6段階で表示します。
 - ・[測定/停止]スイッチを押すと、測定結果を記録し、測定を終了します。
 - ・測定結果はエラーを除き、メモリーはユーザー1、2にそれぞれ90回分記録されます。
 - ・電源を切り忘れても、約3分で自動的に電源が切れます。

<メモリーの呼び出しかた>

- ・呼び出したいユーザー（または) が、表示部に点灯されているか確認後、該当の[ユーザー1]または[ユーザー2]スイッチを押すと、該当ユーザーの平均値（最新3回分から算出）が表示されます。さらに[戻る(▼)]または[進む(▲)]スイッチを押すと、過去の測定結果を見ることができます。[朝/夜切替]スイッチを押して、朝メモリーまたは夜メモリーを選択すると、朝時間または夜時間に測定された最新1週間分のメモリーの平均値が表示されます。さらに[戻る(▼)]または[進む(▲)]スイッチを押すと、過去の結果を見ることができます。朝のメモリーは朝時間（AM3：00～AM10：59）、夜のメモリーは、夜時間（PM6：00～AM2：59の間）に測定した結果が記録されています。尚、朝夜の時間範囲の変更は可能です。



※操作方法の詳細については取扱説明書をお読みください。

※Err等の表示が出た場合は、取扱説明書に従って、操作をおこなってください。

<測定時の注意点>

- (1) 測定前に5～6回深呼吸をし、5分以上安静にしてから測定してください。緊張時や、精神状態が不安定なときは、血圧が安定しません。
- (2) 睡眠不足や便秘のとき、または運動や食事の後でも血圧は高くなります。
- (3) 飲酒の後や入浴直後には測定をおこなわないでください。
- (4) 尿意や便意があるときは、排尿や排便をすませてから測定してください。
- (5) 20℃前後の室温で測定してください。寒さは血圧を上昇させます。
- (6) コーヒーや紅茶などを飲んだり喫煙した直後は、正しい値が得られません。
- (7) 連続して測定をおこなわないでください。上腕がうっ血して正しい値が得られません。必ず間隔（1分以上）をあけてから測定してください。
- (8) 正しい姿勢で安静にして測定してください。カフ（腕帯）を心臓の高さに保ち、腕を動かしたり、話をしないでください。正しい姿勢が難しい場合は、いつも同じ姿勢で測定してください。
- (9) 血圧は長期のデータを見ることが大切です。お薬（血圧を下げる薬等）を服用した時間も考慮して、一日のうちで最も安定した状態が保てる時間帯を選んで、毎日できるだけ同じ時刻に測定しましょう。
- (10) 測定中に体に異常を感じたり、気分が悪くなったりした場合には、使用を中断して医師の指導を受けてください。
- (11) エアホースを折り曲げた状態で使用しないでください。カフ（腕帯）から空気が抜けず、血流障害を起こすおそれがあります。

【使用上の注意】

- (1) 血圧測定の目的以外には、使用しないでください。分解や修理、改造をおこなわないでください。[発火したり、故障や事故をおこすおそれがあります。]
- (2) 携帯電話など、電磁波を発生する機器に近づけないでください。[誤動作する可能性があります。]
- (3) 乳幼児や意思表示のできない人に使用しないでください。
- (4) 医師の指導を受けてご自身で測る場合があります。医師の指示に従い正しく測定しましょう。
- (5) 血圧を連続して測定すると、うっ血、はれなどの原因となる場合があります。必ず間隔（1分以上）をあけてから測定してください。
- (6) 表示部にまたはマークが出たり[測定/停止]スイッチを押しても何も表示されないときは、4本同時に新しい乾電池と交換してください。充電機をご使用の場合は充電してください。
- (7) 強い圧迫感などの異常を感じた時は[測定/停止]スイッチを押す、またはエアホースプラグを外す、またはカフ（腕帯）を外してください。
- (8) 専用のACアダプター以外は、使用しないでください。[感電や火災、故障の原因になります。]
- (9) ACアダプターはぬれた手で、コンセントから抜き差ししないでください。ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。[感電や火災、故障の原因になります。]
- (10) 故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、販売店または弊社お客様相談室（0120-88-6295）に連絡してください。
 - ※添付文書および取扱説明書に従わない使用がなされた場合、および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- ① 高温や直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、ほこりの多い場所、腐食性ガスの発生する場所に保管しないでください。
- ② 長期間使用しない場合は電池を外してください。電池からの液漏れにより故障の原因になります。

2. 耐用期間

標準的な耐用期間：5年もしくは30,000回のいずれか早く達した方。[自己認証（当社データ）による。]

※ カフ（腕帯）、電池などの消耗品は除く。

※ 標準的な耐用期間を超えて使用しないでください。

【保守・点検に係る事項】

- (1) しばらく使用しなかったときは、使用前に作動すること（電源が入る、加圧するなど）を確認した後、ご使用ください。
- (2) 汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き取り、乾いた布で拭いてください。水をかけたり、アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：シチズン・システムズ株式会社

お問い合わせ先

シチズン・システムズ株式会社 お客様相談室

〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12

電話：0120-88-6295